

・・・ 編集後記 ・・・

令和4年度より編集委員を拝命し、編集業務を通して多くの学びと貴重な経験を得ることができました。基本的には2名1組となり、担当論文の筆者と査読者間の調整や査読後の編集および決定までのプロセスが業務となります。その中でも特に印象的だったのは、本機関誌において大学院生が筆頭著者の論文はこれまでになく、私の初めての担当が大学院生の論文だったことです。本機関誌の投稿規定には、「投稿原稿に関しては日本臨床検査学教育学会の会員校の教員、あるいは病院等医療施設において臨床検査技師を目指す学生の指導を行っている臨床検査技師または医師で本学会の学術会員として登録されている者に限る。」とあります。この投稿規定の解釈と編集委員会のご判断をいただくことから始まり、結果として責任著者が日本臨床検査学教育学会の会員校の教員であることや臨床検査学の教育を中心とした広く医療人の育成に関する研究ならびに当学会の活動を含めた情報交換に資することからお認めいただくこと

ができました。その後大学院卒業間際の中、査読者からのご意見に対しても真摯に対応され、無事受理に至ったことは編集委員の立場ながら大変うれしく思いました。

さて、今回発刊いたしました17巻2号は、主に総説1報、資料1報、報告1報、教育機関紹介2報、国際交流1報、書評1報、関連学会報告1報で構成されております。いずれも臨床検査学教育への先進的な内容であり、会員の皆様におかれましても多くの知見が得られると確信しております。

最後になりますが、臨床検査技師の卒前教育を取り巻く環境は、タスク・シフト/シェア講習会や指定規則変更に伴う臨地実習の新カリキュラムの実施など大きく変化しております。今後本誌を通して、多くの情報が共有され、各養成校の教員、医療施設の臨床検査技師、そして臨床検査技師を志す学生がさらなる発展を遂げることを願っております。

(令和7年6月17日 編集委員 星 雅人)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和6年・7年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学、～2025年5月25日)／
高崎昭彦(四日市看護医療大学、2025年5月26日～)

委員長：多田達史(香川県立保健医療大学)

副委員長：吉田祥子(東京工科大学)

委員：伊藤洋志(神戸常盤大学)、大津山賢一郎(山口大学)、岡山香里(群馬パース大学)、
木村明佐子(国際医療福祉大学)、宿谷賢一(順天堂大学)、杉本恵子(藤田医科大学)、
副島友莉恵(東京科学大学)、徳原康哲(香川県立保健医療大学)、西尾美和子(東京科学大学)、
野坂大喜(弘前大学)、星 雅人(藤田医科大学)、本木由香里(山口大学)、米谷正太(杏林大学)

査読者(第17巻1・2号)：長田誠、河村大輔、小池祐史、小山雄一、角勇樹、永田千鶴、濱田悦子、東本祐紀

臨床検査学教育 第17巻 第2号

令和7年9月1日 発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
日本臨床衛生検査技師会内
Tel. 080-7228-0508
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11
Tel. 03-3238-7501